菜

四年

画数 11
筆順 ⺾ ⺾ ⺾ 芷 菜
オン サイ
クン な

成り立ち

〝爪〟という字の〝⺾〟と〝木〟とを組み合せて作った〝采〟は、「木の高い所に手がある形」の字ですから「木の実を〝つみ取る〟こと」を表した字です。

それで、〝采〟と〝⺾〟を組み合わせた〝菜〟は、「〝つみ取る〟草」「つみ取って食べる草」という意味の字で、〝野菜（な）〟のことを表したものです。

また、〝菜〟は副食物（おかず）として食べる物ですから、〝副食物〟の意味にも使われます。例一汁一菜、総菜。

使い方

▽菜食主義の人がいます。これは、肉や魚を食べないで、野菜だけを食べるという考え方の人のことです。しかし、人間の体には、たんぱく質が必要ですから、やはり、肉や魚も食べることが必要です。

▽おかあさんは、「菜について、好き嫌いをいうと、栄養がかたよって、丈夫になれませんよ」といいます。

熟語例

▽野菜（畑に作って、副食物にする植物）

▽白菜（白い野菜、という意味で、あぶらな科の植物です。みなさんも、なべものや、おつけもので、食べたことがあるでしょう。）

▽菜園（野菜畑。このごろは、自分の家で野菜を作る「家庭菜園」が、はやっていますね。）

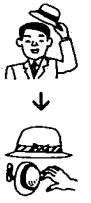
▽総菜（おかずのことです。たんに〝お菜〟とも言います。とくに、ふだん、家庭で食べるおかずのことをいいます。「今日のお総菜は、なんにしようかしら」などというふうに、つかいます。）

最

四年

画数 12
筆順 旦 旦 旦 最
オン サイ
クン もっと＝も

成り立ち



〝帽子〟の形を表した〝冒〟と、〝取る〟という意味の〝取〟とを組み合わせて作った字です。

「帽子を〝取る〟」ことを表した字です。けれども、帽子は人の一番高い所にあるところから、〝一番高い（最高）〟という意味に使われるようになりました。例最高（最も高い）、最善。

今では、〝一番〟〝もっとも〟という意味に使われるようになりましたので、〝取る〟という意味は、〝最〟に〝扌〟を加えて〝撮〟という字を作りました。例撮影、写真を撮る。

使い方

▽「あなたが最も好きな食べ物は、なんですか」と聞かれたので、「バナナが最高に好きです」と答えました。

▽何かしようと思ったら、その目的に向かって最善をつくすことが大事です。その目的が、果たせたか、果たせなかったかよりも、最善をつくしたか、つくさなかったかの方が問題なのです。

熟語例

▽最高（一番高いこと。また、高いことに限らず、一番、という意味につかわれます。意味を広げて、一番良い、一番速いなどという時にも、つかわれます。）

▽最善（一番善いこと。また、「できるかぎりのことをする」という意味にもつかいます。）

▽最新（一番新しいこと。「最新のニュース」などというふうに、つかいます。）

▽最初（一番はじめ。「最初から最後まで、おもしろい映画だった」などというふうに、つかいます。）

▽最期（一生のおわり、ということで、死ぬことです。「静かな最期をとげた」などというふうに、つかいます。）